



「この先にはどのような未来が」
私たち水土里ネット熊本は、子どもたちの明るい未来を見据え、職員一人ひとりがこの
想いを胸にし、農業・農村を元気にする様々な取り組みをおこなっています。
これからも私たちの活躍に是非ご期待ください。

midorinet are fabulous!
～水土里ネットは最高だ!～

みどり
水土里ネット熊本
水土里ネット (熊本県土地改良事業団体連合会)

熊本の農業・農村を支える
水土里ネット

R4.2



住所：熊本市北区龍田陳内3丁目15番1号
TEL：096-348-8801 FAX：096-348-8011
URL：http://www.higosanae.or.jp/

©熊本県 2010 くまモン
熊本県農村振興技術連盟主催「農業農村整備事業写真コンテスト」受賞作品の一部を使用しております。

くまもとの水土里ネットポスターの変遷



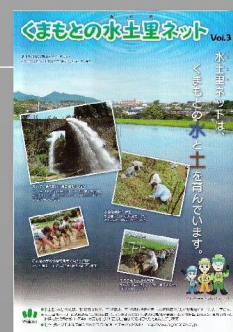
H24 年度 vol.1

水土里ネットが取り組んでいる活動が地域のため、熊本のため、日本のため、そして地球のために寄与していることを紹介。



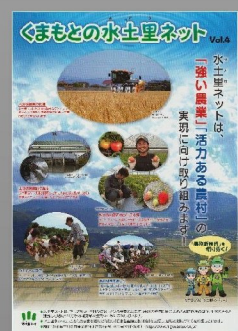
H25 年度 vol.2

地域の水土里ネットが水利施設を守っていることで、農産物の生産だけでなく、生態系の保全や美しい農村風景の保全、地域のつながりの創出など様々な恩恵を県民の皆さんが享受していることを紹介。



H26 年度 vol.3

熊本県で条例化された「地下水と土を育む農業推進条例」に関連した水土里ネットの取り組みについて紹介。



H27 年度 vol.4

『強い農業』の実現に向けた取り組みと『活力ある農業』への実現に向けた『地域の水土里ネット』の取り組みを紹介。



H28 年度 vol.5

熊本地震、豪雨災害により熊本県下の農地、土地改良施設などの農業基盤に甚大な被害を受けた地域の水土里ネットの皆様が自力復旧などにより営農が再開されていることを紹介。



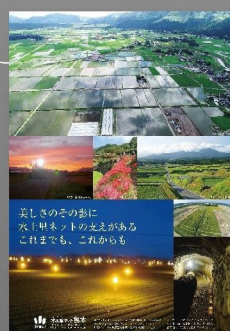
H29 年度 vol.6

地域の水土里ネットが展開している「田んぼの学校」などを通じ、子どもたちに農業・農村や農業用水利施設に関心を持ってもらうことが未来の農業・農村の維持・発展に繋がること。また、水土里ネットで働く女性職員の活躍も『笑顔あふれる農業・農村』の創造に繋がることを表現。



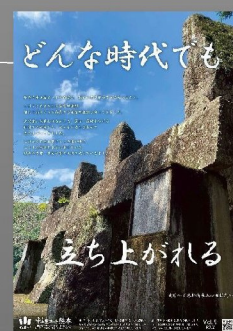
H30 年度 vol.7

平成の時代で水土里ネットが果たしてきた役割や地域との絆、守り育んできた資源を後世に繋ぐとともに、新たな時代に向けて、女性の活躍の場を拡大しつつ、魅力ある農業・農村の創造を目指すことを表現。



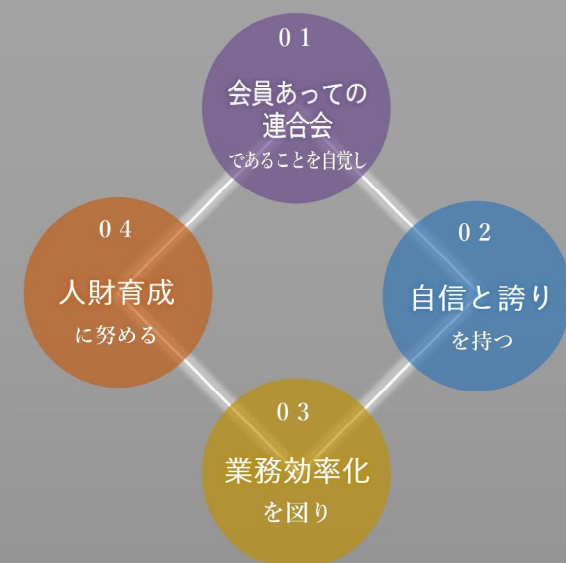
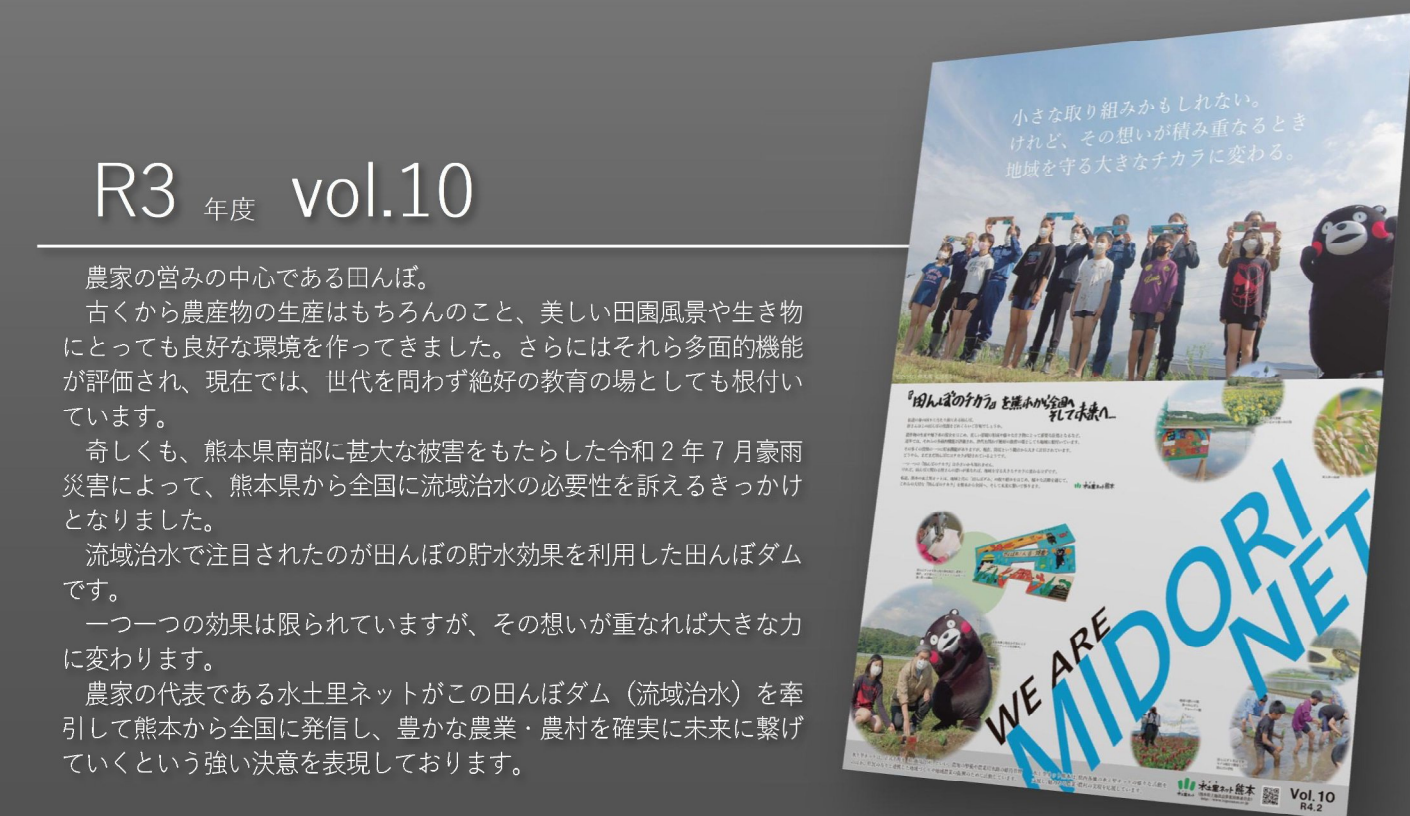
R1 年度 vol.8

農村地域が織りなす美しい景観や歴史的遺産が守り育まれてきたのは、これまでの水土里ネットの支えがあったからこそ。この「[たから]」をいつの時代にも引き継いでいってほしい。また、引き継ぐための支えとなり続けるという新たな時代への決意を表現。



R2 年度 vol.9

300年以上の歴史の中で、幾多の困難にも負けず、地域の農業を支えてきた「百太郎溝取水口旧樋門」のように、これからも水土里ネットは歩みを止めず、強い絆でこうした資産を守り未来に繋げ、熊本の農業・農村と食文化の下支えであり続けるといふ決意を表現。



会務遂行スローガン

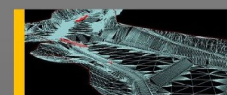
水土里ネット熊本は、会員あつての組織であることを自覚し、職員一人ひとりが自主性・自立性を内に秘め、土地改良事業のプロフェッショナルとしてのプライドを持ち、最新鋭のツールを用いた効率的な業務推進と、人財（材）育成に努めています。

大規模災害や新型コロナウイルス等、困難な時代においても、私達はその歩みを止めず、農業の収益性向上・競争力強化並びに防災・減災・国土強靱化を目指した「産業政策」と農村の地域資源の保全・活用や地域社会の維持・活性化を目指した「地域政策」を支援し、熊本県の農業・農村の政策実現に大きく貢献して参ります。

産業政策



基盤整備事業による波及効果の発揮を見据えた基礎的支援 ----- P 1



農地利用集積率の向上を支援 ----- P 3



農業水利施設の維持管理・長寿命化に関する技術的支援 ----- P 5



災害への備えと防災重点ため池対策への支援 ----- P 7

地域政策



農業・農村の多面的機能を次世代に繋ぐ地域や土地改良区の活動を支援 ----- P 9



その他



土地改良区の運営基盤の強化、県内及び全国へ水土里ネットの役割をPRする活動 ----- P 11

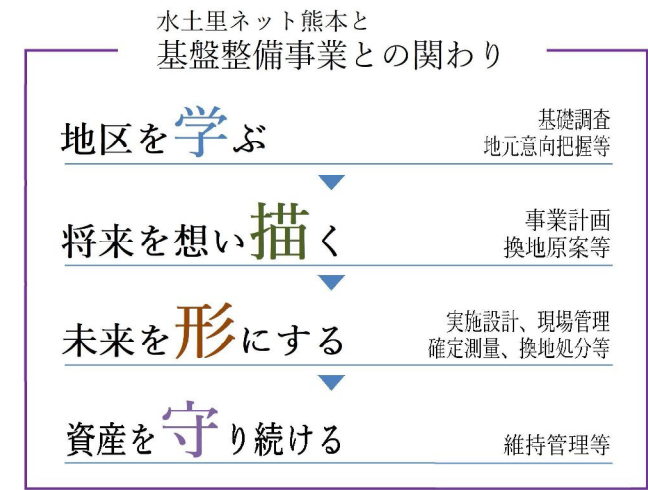


将来を見据えた基盤整備事業との関わりが
農業・農村を元気に

熊本の基幹産業である農業。農業が産業として有り続けるためには、担い手の育成、高収益作物の導入、効率的な営農の展開を実現する基盤整備事業の計画的な実施、更にはその機能を長寿命化する取り組みが不可欠です。

水土里ネット熊本は、これまで、県内各地域の基盤整備事業に事業構想段階から計画し、調査、測量、設計、換地などのあらゆる分野に携わってきました。また、事業完了後も、地元へ寄り添い、施設の長寿命化に向けた維持管理を支援するなど、基盤整備事業に多角的かつ深く関わり続けてきました。

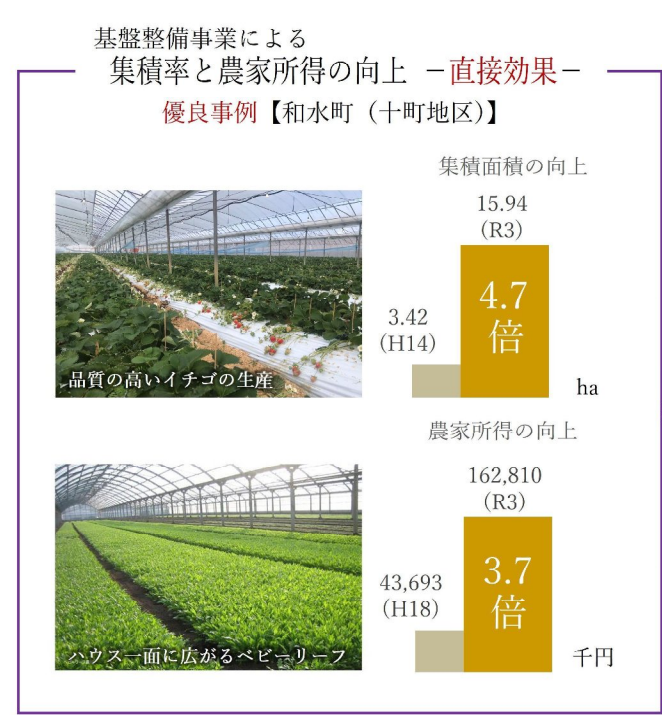
基盤整備事業への長期にわたる関わりは、農産物の生



産性や品質の向上に限らず、担い手の育成や農地利用集積の向上、収益性の高い作物の導入を実現してきました。

また、基盤整備の効果は直接的な効果に留まることなく、新たな雇用創出や地産地消など波及的な広がりを見せ、県内各地の農業・農村を元気にしています。

水土里ネット熊本は、農村地域における将来の波及効果の発揮を見据え、県内各地の基盤整備事業を下支えしています。



収益拡大のチャンス続々と - 波及効果Ⅰ -

1
2
3

ブランド化と
加工品開発

1. 和水町内でも特に美味しいと評判の「十町米」。菊池川流域をむすぶ「ラムスビ」をテーマに「食」のブランディングを進めていくプロジェクトが進行中。
2. 農生産加工会社アジル（株）の「農産加工品」、特に地域の特産品の「タケノコのボイル」が好評で、関東方面へも出荷されている。
3. 他社商品と差別化するため、ベビーリーフ栽培の全てでJAS規格を取得。

関東圏

地産地消の推進
販路の拡大

三和温泉ふるさと交流センター緑彩館

基盤整備事業を契機に、地域の特産物であるナスやイチゴなど様々な農産物の作付面積が拡大。地域の物産館等で販売され、県内外の方々に好評を得ている。

広がる - 波及効果Ⅱ -
雇用の受け皿

1
2

法人の誘致と
組織の育成

1. 国内最大規模ベビーリーフ栽培を行う農業生産法人（株）果実堂が参入。
2. 農生産加工会社アジル（株）。農産品を自社で生産・加工・販売している。
この他、令和2年11月に地区内のコメ農家32人により「十町営農組合」が設立されるなど、確実に雇用の受け皿が拡大している。

地域資源の有効活用

NPO法人くまもとスローワーク・スクール

ひふみ亭

小学校跡地に設立されたNPO法人によってフリースクールとして利用。事業を契機に整備された農地は、里山体験や、農業を通じた就労トレーニングの場としても利用されている。また、同様の施設は複数あり、ベビーリーフ生産に必要な農業機械及び種子等の保管や集荷、タケノコボイルや水煮・各種漬物などの製造施設の他、築110年の古民家を活用した農業体験や田舎料理体験、収穫体験などができる施設も。

子育て支援

地域の見守る力、育成する力がより強固に

ひふみ亭における子育て支援活動

フリースクールでの農業体験の様子

事業を契機に、日々の農作業に追われ余暇を楽しむ余裕さえない状況だった女性達から余剰労働力を生み出すことに成功。
その結果、『夢ランド十町』による地域活動が“更に”花開き、農業体験や田舎宿泊体験、地域の高齢者への福祉活動や子育て支援交流など、その活動が活性化された。

深まる - 波及効果Ⅲ -
地域の絆

地域組織の
活性化

「みんなが主役のむらづくり」がキャッチフレーズの住民総意の自主的な新しいムラづくり協議会『夢ランド十町』。構成は、集落の枠にとらわれない地域住民。また、その半数は女性で占められるなど男女共同参画の先駆的存在。

夢ランド十町の
シンボルマーク

活気づく
地域の催し

基盤整備事業の
一番の理解者であり続けることが
未来の農業の力に

1. 『夢ランド十町』が主催する収穫祭や、和水町が主催する各種イベントにおいて開催している“十町夢マルシェ”などで積極的に地域の農産物を直販。
2. 事業を契機に整備された水田を使ったカヤック遊び。

1. SNSによって十町地域の旬な話題やイベント開催などの情報を発信。
2. 県内外の自治体（国外1団体含：韓国）及び地域団体は33団体、総勢約700名に上る。



基盤整備事業が生み出す波及効果
和水町「十町地区」

農地利用集積率の向上を支援

基盤整備事業における 農地利用集積のプロフェッショナルとして

農地利用集積は、効率的な営農による稼げる農業を促し、持続可能な地域農業を確立する手段として、県内各地で取組まれています。

水土里ネット熊本は、基盤整備事業の実施地区において、事業着手前から熊本県と一体となり、換地業務や土地利用調整指導業務に取り組むなど、農地利用集積に対する総合的な支援を行っています。

農地利用集積に伴う様々な問題点を解決し、各地区で掲げる高い集積目標の達成が確実なものとなり、県下全域の地域営農の底上げに大きく貢献しています。

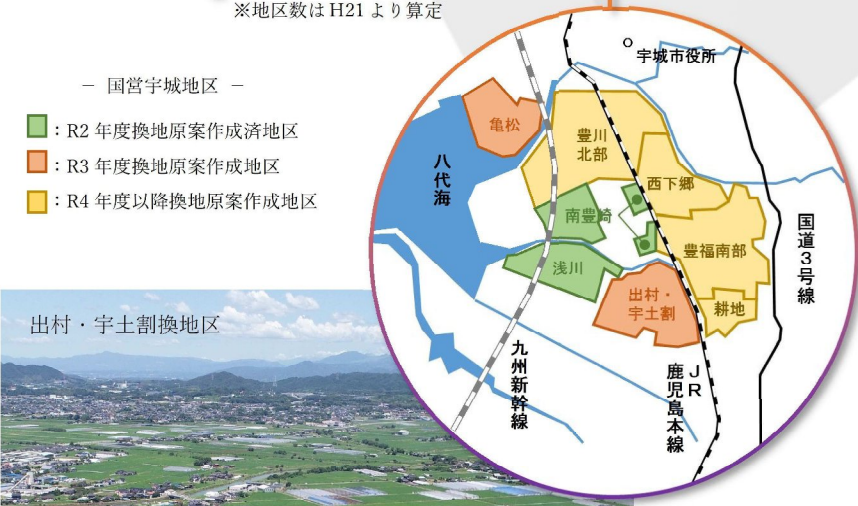
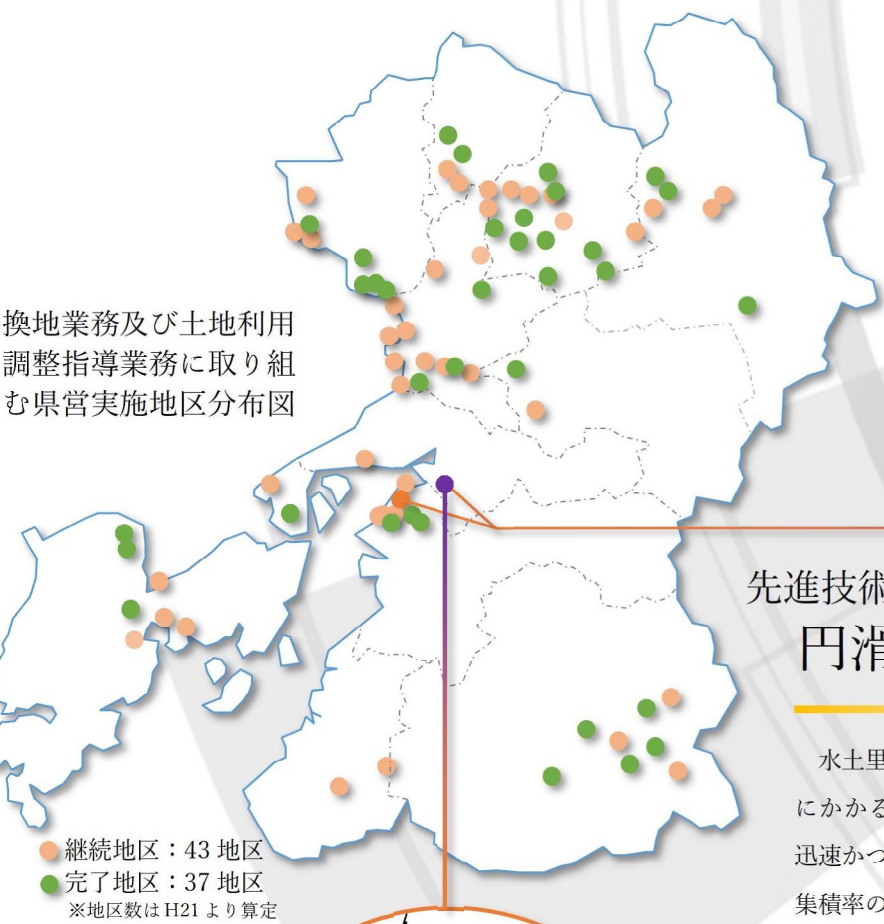


高まる期待 換地で魅せる国営宇城地区の未来像

「宇城地区国営緊急農地再編整備事業」は令和2年度に全8換地区が事業採択され、今年度、先行2地区である「南豊崎換地区」「浅川換地区」が農地集積の基準となる「換地計画原案」を作成しました。そのあとに続く「亀松換地区」「出村・宇土割換地区」についても、来年度「換地計画原案」の作成を行うため、地元換地委員と共に事前の調査を実施しています。

少しずつですが、地区の未来の姿が具体化される中で、地元の方々の整備に対する期待値がこれまで以上に高まってきています。

水土里ネット熊本は、換地のプロフェッショナルとしてこれからも地元に残りながら、熊本県の農業生産拠点となる国営宇城地区を全力でサポートして参ります。



地元へ足繫く通い意向を反映

計画平面図

ドローンで航空写真を撮影し、位置情報を持った本会独自のオルソ画像を作成

宇城市【浅川換地区】

ドローンの活用で営農状況や農地情報を網羅

VRS機器の活用で瞬時に位置情報を観測

VRS機器が確定測量を円滑に

八代市【貝洲地区】

先進技術の活用が 円滑な事業実施を牽引

水土里ネット熊本は、先進技術を駆使し、換地にかかる最新の農地情報の取得や測量における迅速かつ正確な基準点設置を行い、各地区の目標集積率の達成に向け、円滑な事業実施を後押ししています。

また、近年のICT施工機械による工事に対応するため、新たに3D設計ソフトを導入するなど、設計業務の精度の向上に努めております。

NEW

3D設計の導入で設計と施工の乖離を抑制

3D表示のため設計イメージの把握が容易となり、ICT施工機械へ情報提供も可能で、地元要望や現場条件による設計変更発生時の対応力の向上が期待される。

いざ『稼げる農業』の加速化と、 『未来に夢を持てる力強い農業』 の実現に向けて

水土里ネット熊本は、地元に残りながら、意欲ある担い手への農地利用集積を支援することで、『稼げる農業』を加速化し、『未来に夢を持てる力強い農業』の実現に大きく貢献して参ります。

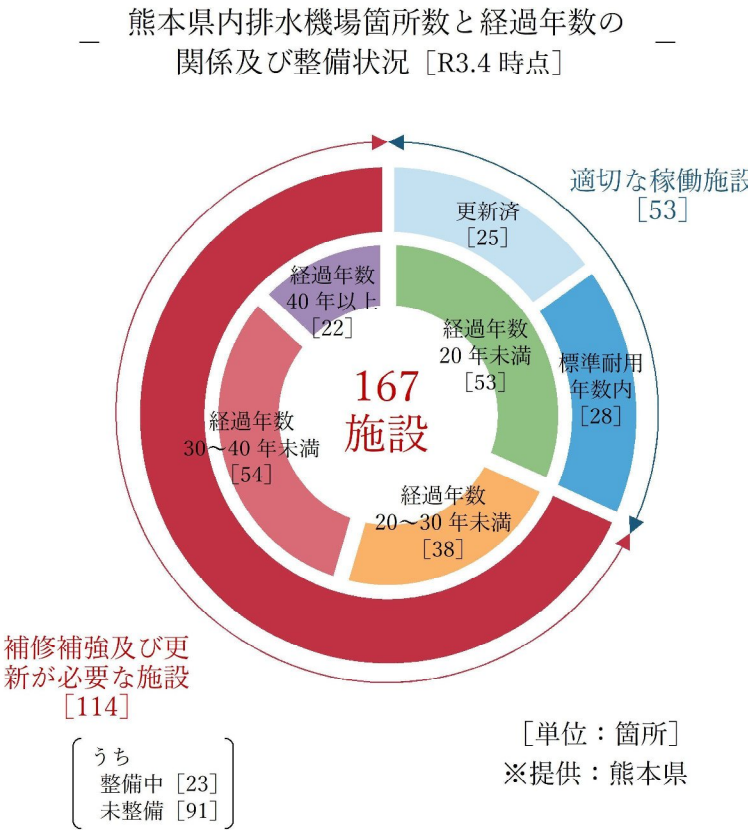


農業水利施設の オールラウンダーとして

農業水利施設は、食料の安定供給を支える基幹施設であるとともに、洪水防止、水質浄化、防火用水などの多面的機能を有し、地域にとっても重要な社会資本となっています。

しかし、県内の多くの施設は造成から長い年月が経過しており、特に排水機場では、『167』箇所のうち約7割に当たる『114』箇所で耐用年数20年を超過(うち76箇所においては30年以上が経過)し、突発事故等による湛水被害も危惧されるため計画的な施設更新が急務となっています。

水土里ネット熊本は、施設の更新整備が実施されるまでの間、これらの施設が、突発的な災害に耐え、必要な機能が適正かつ安定的に発揮されるよう、施設の診断・管理指導、整備補修、点検、技術者派遣等、幅広い技術的支援を行っています。



育てる 診断・管理指導、研修・教育【土地改良区体制強化事業】

診断

指導

ねらい

- 施設管理者に対し、操作運転、点検・整備、機能保全及び災害・事故リスク管理・監視等の現地指導等を実施。
- 施設の適切な点検が不具合の早期発見に繋がり、施設の機能保持及び事故発生リスクを低減。また、突発事故対応のための技術者派遣による事故発生時の被害拡大を防止。

New initiative
新たな取り組み

安全講習

操作講習

施設全景

点検の目を空から
ドローンを用いた新たな施設管理

農業水利施設の点検等における本格的なドローンの導入・活用に向け操作講習会を実施しました。現在、R4 年度からの正式導入を目指し、最適機種の選定、知識・操作技能の習得などの取り組みを行っています。水土里ネット熊本は、今後益々、効率的かつ正確で、より安全に配慮した施設管理を実現して参ります。

施設状況の把握
(整備計画に活用)

施設状況に応じた
管理方法の習得

設管理者に必要な意識
高揚、知識・技術の習得
への支援

調べる 点検【排水機場等管理業務】

ねらい

- 突発事故発生リスクの低減
- 施設機能の保持
- 事故発生時の被害拡大防止

施設の適切な点検が不具合の早期発見に繋がり、施設の機能保持及び事故発生リスクを低減。また、突発事故対応のための技術者派遣による事故発生時の被害拡大を防止。

整備前

整備後

整える 整備補修【土地改良施設維持管理適正化事業】

ねらい

- 施設の長寿命化
- ライフサイクルコストの低減
- 施設機能の保持と施設管理者の管理意識高揚

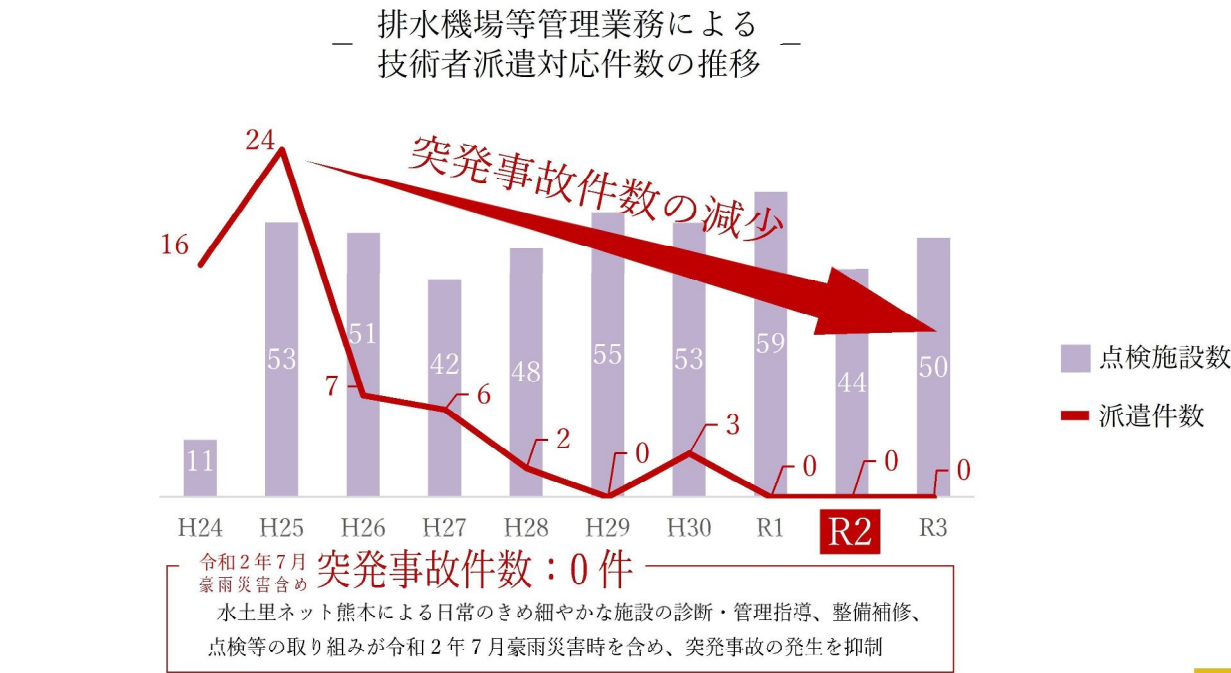
施設の定期的な整備補修を実施。施設管理者の管理意識高揚、施設の機能保持と耐用年数の確保を図る。

令和2年7月豪雨災害を含め
水土里ネット熊本による日常のきめ細やかな施設の診断・管理指導、整備補修、点検等の取り組みが令和2年7月豪雨災害時を含め、突発事故の発生を抑制

育む「農業用水」、繋がる「防災・減災」、 叶える「稼げる農業」

これまでの、水土里ネット熊本による「育てる」、「調べる」、「整える」の取り組みが、県内各地の農業水利施設の機能を適切に維持・保全し、農業用水の安定供給に繋がっています。令和2年7月豪雨災害をはじめ、近年、大規模災害が多発していますが、これらの取り組みを通じて施設管理者の育成が図られていることで、緊急的な技術者の派遣や突発事故は減少傾向にあります。

水土里ネット熊本の取り組みは、施設の長寿命化によるライフサイクルコスト低減に加え、農業や農村地域の「防災・減災」に繋がり、農家の「稼げる農業」の実現に大きく貢献しています。



災害への備えと防災重点ため池対策への支援



あつてはならない災害
無くてはならない備え

私たち水土里ネット熊本は、これまで多くの災害復旧に携わってきましたが、熊本地震や令和 2 年 7 月豪雨災害を教訓とし、近年相次ぐ大規模災害に対する備えを強化しております。

災害発生時、会員である市町村・土地改良区を迅速に支援するため、より多くの職員が様々な被災状況に対応できるよう、研修会等を通じ、測量・設計技術の研鑽並びに支援体制の強化に努めています。

今年度、国の進める「防災・減災、国土強靱化のための 5 か年加速化対策」の一つである防災重点ため池対策についても、「熊本県ため池サポートセンター」を開設し、ため池管理者が適正に管理保全ができるよう、技術的指導や助言を行うための体制を整備しました。

また、浸水想定区域図作成や水土里 GIS を用い、市町村に対して的確な防災計画及びハザードマップ作成の支援を行うなど、地域の「防災・減災」に向けた取り組みを強化しています。

あつてはならない災害ですが、水土里ネット熊本は、これまでも、そしてこれからも、市町村や土地改良区にとって「無くてはならない災害の備え」として在り続けます。

災害技術者育成の力

例年、災害復旧事業の実務研修会を開催し、技術者数の底上げに取り組んでいます。

令和 3 年度も若手職員を対象に、災害時の測量・設計方法等について実務研修会を開催しました。

今後も会内外で災害復旧のノウハウを共有し、熊本県全体をサポートできるよう、技術者の即戦力化に努めて参ります。



実務研修会を開催し、技術者数の底上げを図る



技術者の即戦力化を促す野外研修

ため池に関する あらゆるリスクを限りなくゼロに 【ため池サポートセンター】

「熊本県ため池サポートセンター」には、ため池保全に関するスペシャリストが常駐しています。
ため池管理者からの相談、日常点検の技術指導や現地パトロール、技術的な研修会などの啓発活動をワンストップで対応し、突発事故、豪雨等による決壊等、ため池に関するあらゆるリスクを未然に回避しています。

支える

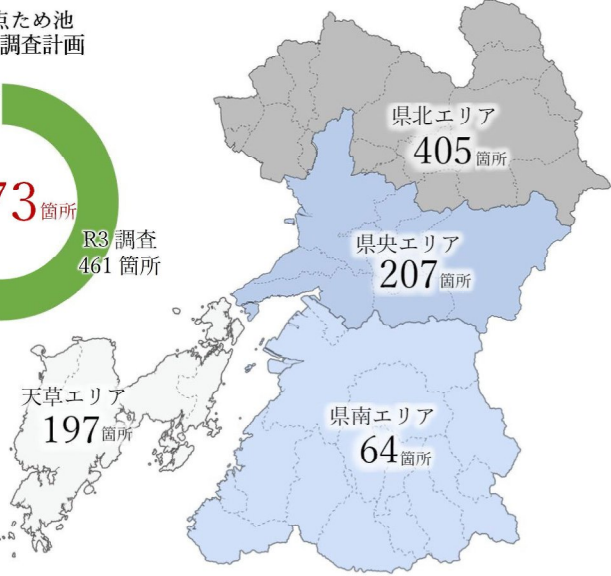
育てる

調べ
予測する



- 1.2.ため池管理者への相談業務対応状況
- 3.令和 3 年度農業用ため池の管理・保全研修会（山鹿市）
- 4.「熊本県ため池サポートセンター」看板と共に記念撮影の様子
- 左より 渡邉熊本県農村振興局長、早田熊本県ため池協議会副会長、元松熊本県ため池協議会会長、木村熊本県副知事、荒木連合会会長、坂田連合会副会長、久保田連合会常務理事

防災重点ため池
劣化状況調査計画



防災重点 ため池データの一元化

ため池に関する災害発生を未然に防止するためには、日常の適正な保全管理が欠かせず、現在、市町村においては、その管理状況を適切かつ速やかに把握することが求められています。

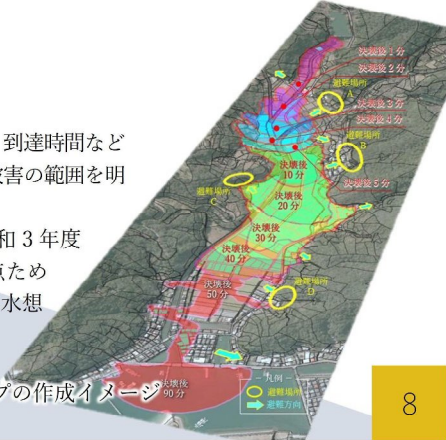
水土里ネット熊本は、県内全ての防災重点農業用ため池 8 7 3 箇所について、劣化状況調査を実施し、市町村が適切に状況把握を行うためのデータ整備を行っています。

ため池の決壊を想定し、 危険を『見える化』

ため池が決壊した際、下流域の家屋や公共施設等に留まらず、人的被害を与える恐れのある防災重点ため池について、浸水想定区域図の作成を行うことで市町村によるハザードマップ作成や防災計画等策定を支援し、地域住民の安全な避難行動に繋げる取組みを行っています。

決壊時の流水方向や浸水区域、到達時間などをシミュレートし、想定される被害の範囲を明らかに。
熊本県や市町村と連携し、令和 3 年度までに県下 873 か所の防災重点ため池のうち、832 か所について浸水想定区域図を作成。

ハザードマップの作成イメージ



『水』『土』『里』の美しさを
次世代に繋ぐパートナーとして

農業・農村が持つ多面的機能は、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等、その発揮により県民に多くの恩恵をもたらしています。

しかし、農村地域の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動に支えられている多面的機能の発揮に支障を来しつつあります。

そのため、土地改良区と水土里ネット熊本は、県内各地で「田んぼの学校」を始めとする様々な活動を展開し、将来を担う地域の子どもたちや住民の農業・農村に対する理解の醸成に努めてきました。

また、水土里ネット熊本は、国、県並びに市町村、各地域の土地改良区と連携しながら「熊本県多面的機能支払推進協議会」の事務局として、県内の活動組織が適切に実施することができるよう、研修会等での指導・助言、各種会議での情報発信、制度に対する理解促進のための広報活動など、幅広い取り組みにより活動組織及び行政の支援を行っています。

水土里ネット熊本は、これからも、土地改良区の活動や多面的機能支払の活動を支える地域のパートナーとして、地域の資産（たから）である『水』『土』『里』の美しさを次世代へ継承して参ります。

育 てる

事務研修
抽出検査

技術研修



1. 本会の職員が初任者研修を実施。制度の基礎や実績確認の方法について助言・指導を行う。



2. 目地補修等技術講習会を実施。構成員の補修技術力アップ及び防草シート設置技術力アップを行う。

取り組みのねらい

- 制度理解促進
- 指導力向上
- 技術力向上

築 く

新規役員研修会
広域化推進勉強会



1. 広域組織と活動組織が開催する勉強会へ参加。地域の事務局員に対して制度説明や疑問への回答を行う。



2. 広域組織の拡大のため、市町村への指導・助言を行う。広域化に伴う事務局体制作りについて、広域組織事務局の具体例により設立推進を行う。

取り組みのねらい

- 地元事務局の課題解決・理解促進
- 事務負担軽減

NEW
拡 げ る

田んぼダムの取組推進、
取組面積拡大



1. 県と共に緑の流域治水にも繋がる、多面的機能支払による田んぼダムの取組を推進。



2. 草地面積の取組拡大のため、牧野組合関係担当者への指導・助言を行う。

取り組みのねらい

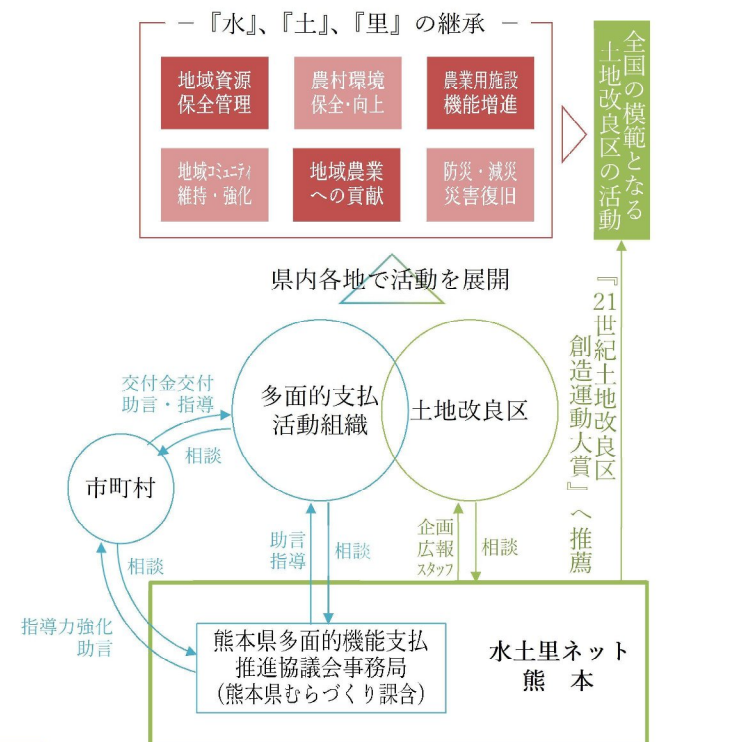
- 田んぼダムの取組推進
- 草地面積の取組拡大

田 ん ぼ ダ ム 適 用

繋がる「人」、
引き継ぐ「地域資源」、発揮される「農村の力」

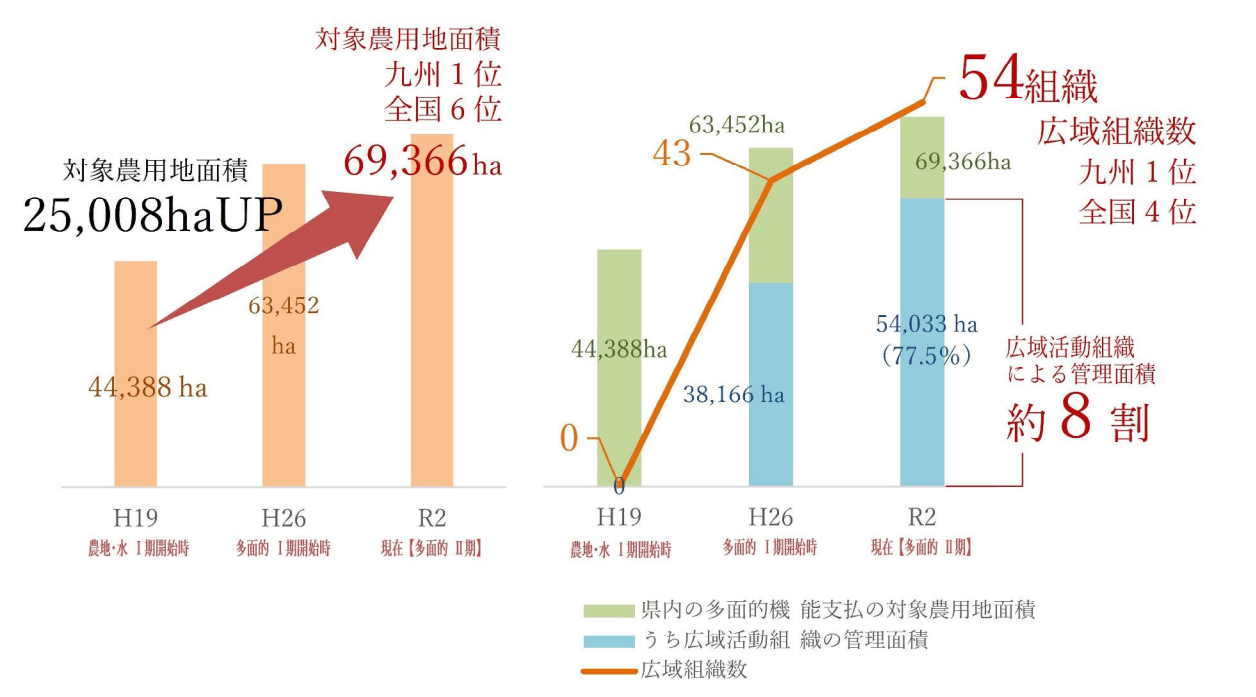
水土里ネット熊本の「育てる」、「築く」、「拡げる」の幅広い取り組みが、人と人を引き寄せ、地域の資産（たから）を次世代へ継承し、県内各地域における多面的機能の維持・発揮に大きく貢献しています。

ー 県内の地域活動に対する水土里ネット熊本の支援状況 ー



ー 県内の多面的機能支払の対象農用地面積の推移 ー

ー 県内の広域組織数及び取り組み面積の推移 ー



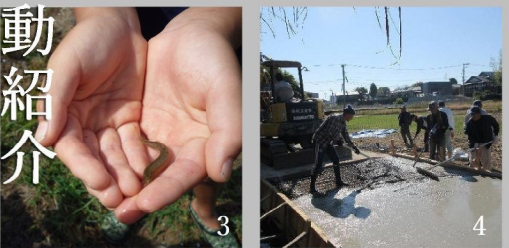
地域の活動紹介



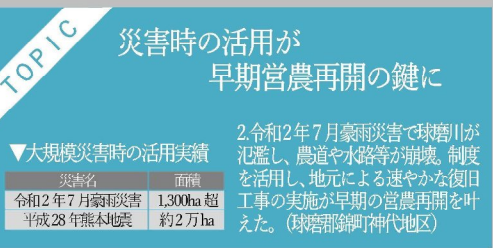
1. 子どもたちが農業農村へ親しんでもらう活動。「水路の生き物調査（北木倉地域資源保全会）」



2. 令和2年7月豪雨災害で球磨川が氾濫し、農道や水路等が崩壊。制度を活用し、地元による速やかな復旧工事の実施が早期の営農再開を叶えた。（球磨郡錦町神代地区）



3. 営農環境を保全する活動「未舗装農道へのコンクリート舗装（宇土八木地域農地・水・環境保全管理協定運営委員会）」



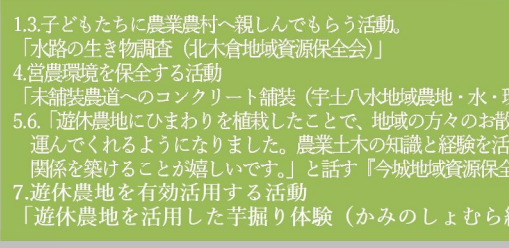
4. 遊休農地にひまわりを植栽したことで、地域の方々のお散歩コースとなり、農地に足を運んでくれるようになりました。農業土木の知識と経験を活かして、地域の方々と良好な関係を築けることが嬉しいです。」と話す「今城地域資源保全会 会計 持田さん」



5. 遊休農地を有効活用する活動「遊休農地を活用した芋掘り体験（かみのしょむら結隊）」



6. 遊休農地を活用した芋掘り体験（かみのしょむら結隊）」



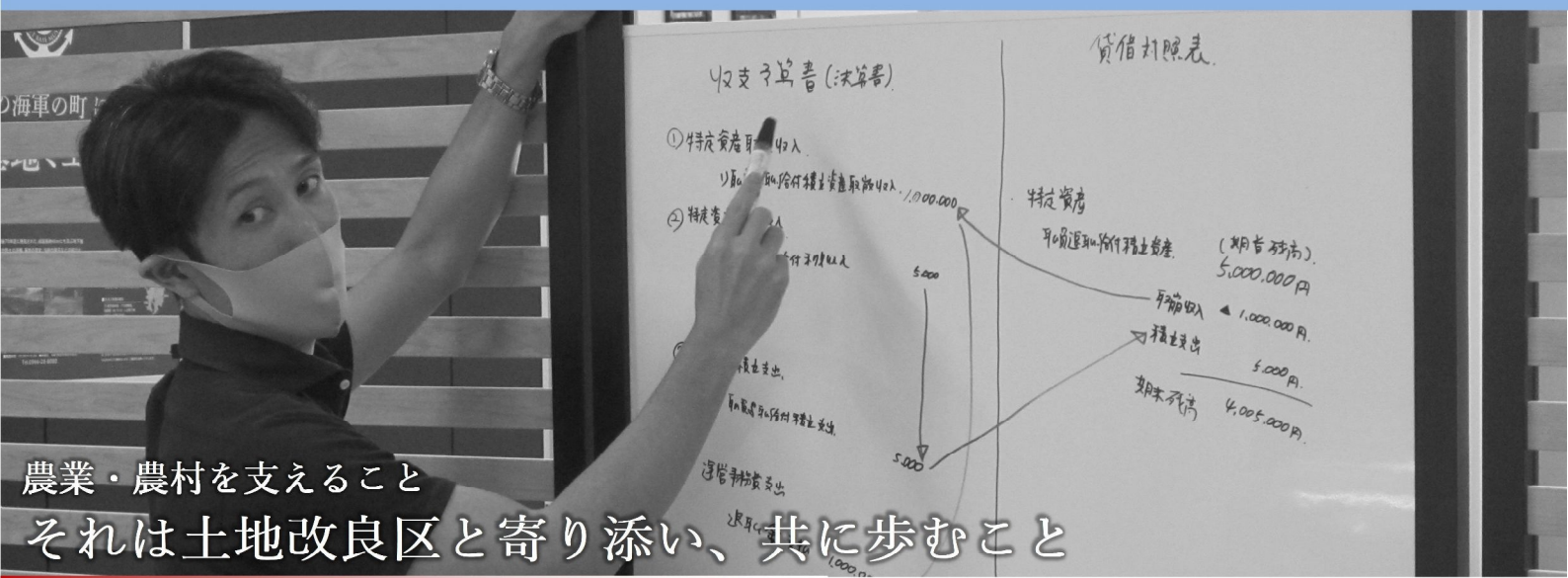
7. 遊休農地を活用した芋掘り体験（かみのしょむら結隊）」



7. 遊休農地を活用した芋掘り体験（かみのしょむら結隊）」

水・土・里
の美しさを
次世代へ

土地改良区の運営基盤の強化、県内及び全国へ水土里ネットの役割をP Rする活動



農業・農村を支えること
それは土地改良区と寄り添い、共に歩むこと

食料の安定供給の基盤として必要不可欠な土地改良施設を管理する県内各地の土地改良区。

現在、その土地改良区は組合員の減少や高齢化、土地持ち非農家の増加等により組織力の低下を招き、将来にわたる土地改良施設の適切な維持管理や更新が危惧されています。

水土里ネット熊本は、本会の会計指導員や顧問弁護士・公認会計士等と共に、複式簿記の導入による財務基盤の強化をはじめ、紛争処理等のための相談窓口の設置土地改良区の役員等に向けた各種研修会の企画・開催等を実施するなど、万全なフォロー体制と豊富な支援メニューで土地改良区の運営基盤の強化に努めています。

いよいよ令和4年度より、全ての土地改良区において貸借対照表の作成が義務付けられます。



川崎税理士と臨む巡回指導の状況

財務基盤の強化「複式簿記導入への支援」

会計指導員による
万全なフォロー体制

土地改良区では、令和4年度から貸借対照表を作成するために原則複式簿記に移行する必要があります。そのような中、水土里ネット熊本は、土地改良区の相談に対応するため、農林水産省から認定を受けた会計指導員が土地改良区へ順次訪問し、複式簿記の指導を実施しています。

また、複式簿記に関する地域別の研修会及び会計を担う女性職員に向けたワークショップ等の企画・開催、また、小規模な土地改良区についても円滑な複式簿記への移行を支援するため、複式簿記会計システム（ミラウド mini）を導入するなど、フォロー体制は万全です。

今後も本会の会計指導員の巡回指導により、円滑な導入に向け会員の皆さまを強力に支援していきます。

また、様々な広報ツールやイベント、研修会等を通じ、幅広い世代に対して土地改良区や農業・農村に関する更なる認知度の向上、理解促進を図っています。

水土里ネット熊本は、これからも土地改良区の皆様と寄り添い共に歩むことで、熊本県の農業・農村を支え続けていきます。



土地改良区等女性職員に向けたワークショップの開催



地域別研修会の状況

ー 複式簿記導入のねらい ー

資産管理の効率化

不正防止

コスト意識の高揚

運営基盤の強化「相談窓口の設置」

幅広いネットワーク

土地改良区には、受益者等から様々な分野にわたる相談が数多く持ち込まれます。

水土里ネット熊本は、土地改良区の独自に解決できない問題等について、本会の顧問弁護士・公認会計士等、幅広いネットワークを活用して早期の法的解決に導き、組織の運営基盤強化を図ります。



顧問弁護士との相談状況

水土里ネットの 魅力を全国へ

水土里ネット熊本は、ポスター、広報誌「大地」、ホームページ等を通じ、会員情報や本会の活動等について県内及び全国に幅広く水土里ネットの魅力を発信しています。



「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2021
入賞作品「がんばった分だけごはんがおいしい」
熊本市立帯山小学校 柳澤 花音さん（6年）



広報誌「大地」



広める

女性の活躍が農業・農村をますます元気に



1.令和3年度くまもと水土里ネット女性の会研修会の様子
2.同組織の会長を担う金子水土里ネット幸野溝事務局長



土地改良区では、女性職員が事務を担っているところも多く、女性の活躍が土地改良区の運営に大きく寄与しているといっても過言ではありません。

水土里ネット熊本は、国の掲げる「第5次男女共同参画基本計画」の推進のため、国や熊本県をはじめとする関係機関と連携を強化し、本会や熊本県、土地改良区等の女性職員が多数在籍する「くまもと水土里ネット女性の会」と一体となって、農業農村地域の女性がより一層いきいきと活躍できる環境づくりに努めて参ります。

田んぼダムを熊本から全国へ

水土里ネット熊本は、地域と共に、熊本県が進める“緑の流域治水”を積極的に支援・発信し、その活動を熊本から全国に、また未来に繋いでいきます。



- 1.田んぼダムせき板設置式典の様子。会場にはくまモンも駆け付けた。
- 2.蒲島知事と地元小学生による田んぼダムせき板設置式。
- 3.田んぼダム実証実験のモデル地区における田んぼの学校（田植え体験）の様子。
- 4.田んぼダムせき板は地元福祉施設と連携して制作。
- 5.子供たちの思いが込められた田んぼダムせき板。



農福連携